

令和2年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和2年4月8日

上場会社名 株式会社アメイズ 上場取引所 福証
 コード番号 6076 URL https://www.az-hotels.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)穴見 賢一
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役副社長 (氏名)児玉 幸子 (TEL)097(524)3301
 四半期報告書提出予定日 令和2年4月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年11月期第1四半期の業績（令和元年12月1日～令和2年2月29日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年11月期第1四半期	3,495	0.2	823	8.3	728	10.3	499	11.2
元年11月期第1四半期	3,488	△1.6	760	△9.9	660	△10.3	448	△10.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年11月期第1四半期	32.82	—
元年11月期第1四半期	29.51	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年11月期第1四半期	26,026	11,864	45.6
元年11月期	26,767	11,898	44.5

(参考) 自己資本 2年11月期第1四半期 11,864百万円 元年11月期 11,898百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
元年11月期	—	—	—	35.00	35.00
2年11月期	—	—	—	—	—
2年11月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年11月期の業績予想（令和元年12月1日～令和2年11月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,500	2.6	1,700	△5.5	1,500	△6.1	980	△10.3	64.46
通期	15,300	3.1	3,400	△6.9	3,000	△7.9	1,900	△7.6	124.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2年11月期1Q	15,204,000株	元年11月期	15,204,000株
② 期末自己株式数	2年11月期1Q	378株	元年11月期	378株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2年11月期1Q	15,203,622株	元年11月期1Q	15,203,622株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による施策を背景に企業収益や雇用環境の改善など緩やかな景気回復の兆しはあったものの、消費税率引上げ後の個人消費の減速、米中貿易摩擦問題や新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による世界的な景気減速懸念から依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、訪日外国人数の増加により宿泊需要は回復傾向にありホテル市況改善の兆しが見え始めておりましたが、不安定な国際情勢や人材不足による人件費の上昇に伴うリスクに加え、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として政府より発表された渡航制限、不要不急の外出及びイベントの自粛要請の影響により宿泊需要は減少しており、今後厳しい状況が続く事が予想されます。

当社においては、近年開店した91室タイプの店舗及び133室タイプの店舗の認知度が向上し稼働が安定したことや、業態変更したホテル併設飲食店舗の新業態での営業が定着したことにより売上高は堅調に推移しました。なお、当第1四半期累計期間に新規出店した店舗はありませんでした。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は34億95百万円（前年同四半期比0.2%増）、営業利益は8億23百万円（前年同四半期比8.3%増）、経常利益は7億28百万円（前年同四半期比10.3%増）、四半期純利益は4億99百万円（前年同四半期比11.2%増）となりました。

なお、当第1四半期会計期間末における店舗数は、ホテル店舗が78店舗（直営店75店舗、FC3店舗）、館外飲食店舗が5店舗であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産合計は、260億26百万円となり、前事業年度末に比べ7億40百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少6億14百万円によるものであります。

当第1四半期会計期間末における負債合計は、141億62百万円となり、前事業年度末に比べ7億6百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等の減少3億88百万円によるものであります。

当第1四半期会計期間末における純資産の合計は、118億64百万円となり、前事業年度末に比べ34百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金の減少33百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では令和2年1月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

然しながら、後述しています重要な後発事象に記載の通り、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い、今後の経過によっては令和2年度の当社の財政状態及び経営成績等に影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (令和元年11月30日)	当第1四半期会計期間 (令和2年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,795	1,180
売掛金	250	216
商品	5	5
原材料及び貯蔵品	66	66
その他	147	86
流動資産合計	2,265	1,555
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	8,692	8,542
土地	4,327	4,327
リース資産（純額）	7,197	7,107
信託不動産（純額）	2,540	2,518
その他（純額）	638	891
有形固定資産合計	23,395	23,386
無形固定資産	71	64
投資その他の資産	1,035	1,019
固定資産合計	24,502	24,470
資産合計	26,767	26,026

(単位：百万円)

	前事業年度 (令和元年11月30日)	当第1四半期会計期間 (令和2年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	153	138
1年内返済予定の長期借入金	583	583
リース債務	230	233
未払法人税等	609	220
賞与引当金	—	39
ポイント引当金	99	118
その他	1,306	1,144
流動負債合計	2,982	2,478
固定負債		
長期借入金	3,770	3,624
リース債務	7,854	7,793
退職給付引当金	50	52
役員退職慰労引当金	44	45
資産除去債務	140	141
その他	25	25
固定負債合計	11,886	11,683
負債合計	14,868	14,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,299	1,299
資本剰余金	500	500
利益剰余金	10,096	10,062
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,896	11,863
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	1
評価・換算差額等合計	2	1
純資産合計	11,898	11,864
負債純資産合計	26,767	26,026

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成30年12月1日 至平成31年2月28日)	当第1四半期累計期間 (自令和元年12月1日 至令和2年2月29日)
売上高	3,488	3,495
売上原価	381	385
売上総利益	3,107	3,109
販売費及び一般管理費	2,347	2,286
営業利益	760	823
営業外収益		
受取賃貸料	25	24
その他	3	2
営業外収益合計	28	27
営業外費用		
支払利息	125	118
その他	3	3
営業外費用合計	128	122
経常利益	660	728
税引前四半期純利益	660	728
法人税、住民税及び事業税	174	199
法人税等調整額	37	30
法人税等合計	211	229
四半期純利益	448	499

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響による、当社ホテルの利用客の減少が令和2年3月以降に発生しております。今後の経過によっては令和2年度の当社の財政状態及び経営成績等に重大な影響を及ぼすことが見込まれます。

なお、当該影響額については提出日現在では合理的に算定することが困難であります。